

# 受章おめでとう

## さげすみます

春の叙勲

### ◆ 瑞宝双光章



うるしざか しょういつ 昇逸さん  
(77歳・奥瀬字大堀平)  
教育功労 (元公立中学校長)

「教育は人づくり」を信念に歩んだ40年。いつも純粋な子どもたちの心に学んできました。教職を退職後、旧十和田湖町の教育長を務め、子どもたちには、いろんな角度から、ものを見る目や考え方を身に付けてほしいとの思いから、オーストラリアの異文化を体験する中学生海外体験学習に力を注いできました。この受章は、これまで支えていただいた周りのおかげです。

春の叙勲

### ◆ 瑞宝双光章



どい ひろし 寛さん  
(78歳・西三番町)  
教育功労 (元公立中学校長)

思いもかけない「叙勲」を受けありがたく思います。わたしは昭和24年に沢田小学校を皮切りに教職34年、行政職7年の計41年間勤めました。振り返ると、三本木中学校から東中学校が分離したときに、学校施設が不十分な中にもかかわらず、地域のかたがたと協力して、環境整備に取り組んだことが一番の思い出です。先輩や同僚、父母や地域のかたがたに支えられてきたことに感謝しています。

◆ 叙勲とは……

国家または公共に対し功労のあるかた、社会の各分野における優れた行いのあるかたなどを表彰するものです。

また、著しく危険性の高い業務に精励したかたを対象とする危険業務

春の叙勲

### ◆ 瑞宝単光章



たちざま ひろし 博さん  
(75歳・立崎字猫沢)  
消防功労 (元十和田市消防団分団長)

昭和30年に旧三本木消防団に入団したときは、消防団の規律が厳しく先輩に鍛えられました。当時は、野焼きなどが原因で林野火災が多発していたため、リヤカーにポンプを積んで消火活動をしました。火災による不安を解消するために消防ポンプ自動車の必要性を訴え、寄付金で中古のポンプ自動車を購入したこともありました。この受章は、先輩をはじめ地域の皆さんのおかげだと思っています。

危険業務従事者叙勲

### ◆ 瑞宝双光章



おくやま ひろお 日出男さん  
(75歳・西二十一番町)  
警察功労 (元青森県警部)

警察官として常に使命感と目標意識を持って歩んだ40年。職場の人間関係を大切に、どんなに困難なことがあっても重要な任務であると自分に言い聞かせてきました。刑事を経て、内勤を勤め、地域の治安を維持するためには、住民との理解と協力が必要との思いから積極的に広報活動に取り組みました。こうして健康で勤めることができたのは家族の支えによるものと感謝しています。

従事者叙勲があります。

春は4月29日付け、秋は11月3日付けで授与されます。

問い合わせ先

総務課広報男女参画係  
(☎) 51111内線155・156